



後川内小学校 稲刈り



高原町

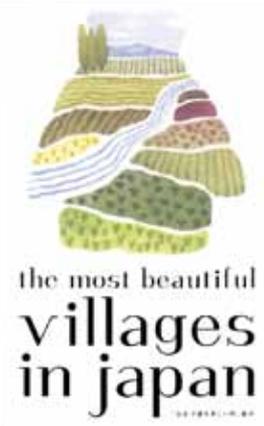
第53号  
平成27年9月定例会

# 議会だより

## おもな内容

- 9月定例会 平成26年度一般会計決算(P2)
- 一般質問、ここが聞きたい(P8~P10)
- ゆくさおじゃったもした農家民泊(P14)

■発行/高原町議会  
■編集/議会だより編集委員会  
☎889-4492 宮崎県西諸県郡高原町大字西麓899番地 ☎(0984)42-5138  
■発行日 平成27年11月16日



# 9月定例会

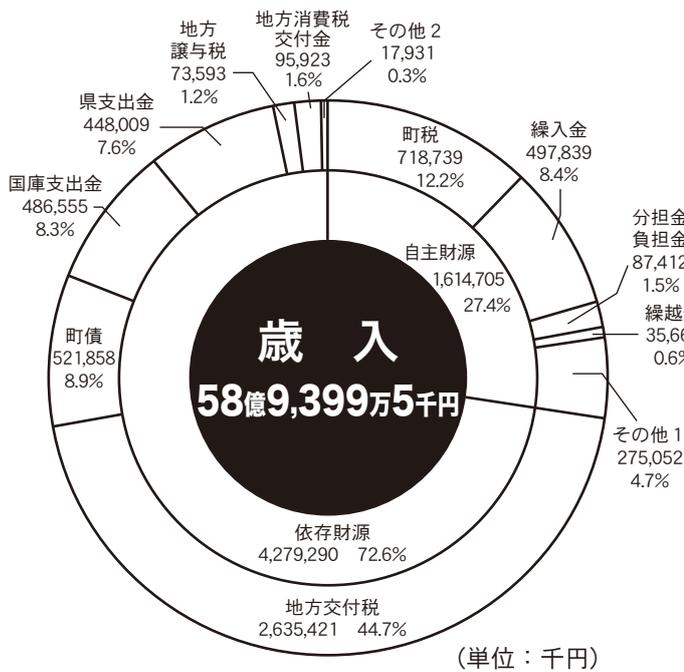
平成27年9月定例会は、9月2日から17日までの16日間の会期で開催されました。今回の定例会は、平成26年度一般会計歳入歳出決算認定など計9会計の決算認定、平成27年度補正予算7件、条例3件、専決処分に係る補正予算の承認2件、人事1件、報告3件、工事請負契約及び物品購入契約2件、その他2件が提案され、条例1件を除き原案どおり承認、同意、可決されました。条例1件については、委員会審査、当局による修正を経た後、可決されました。

また、発議3件を可決、陳情1件を採択しました。

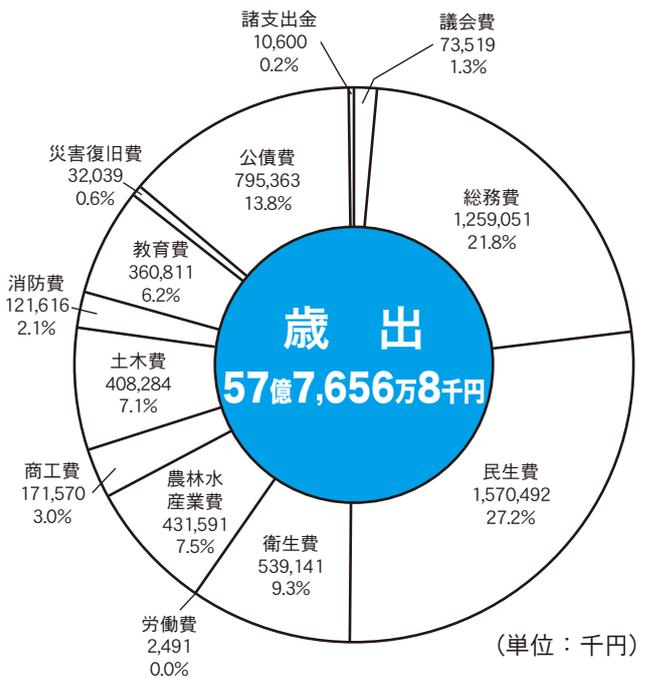
## 平成26年度一般会計決算歳出額

# 57億7,656万8千円

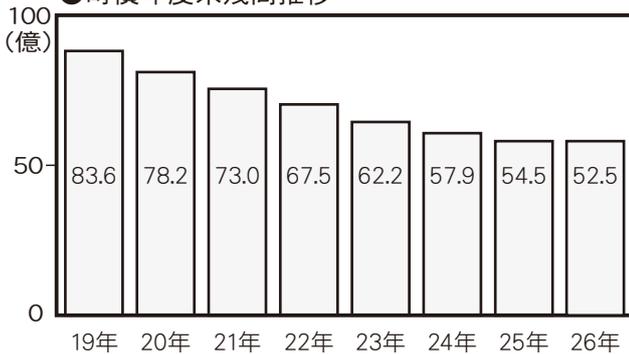
### 歳入



### 歳出



### ●町債年度末残高推移



### ●主要指数

区分	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
財政力指数	0.254	0.239	0.227	0.216	0.219	0.224
経常収支比率 (%)	92.0	90.0	90.8	92.3	90.8	92.2
公債費比率 (%)	16.2	14.4	13.7	13.2	10.7	9.7
実質公債費比率 (%)	16.9	15.4	14.1	13.2	11.9	10.4

- ・財政力指数は、1に近いほど財政力が強い。
- ・経常収支比率は、75%を超えないことが望ましい。
- ・公債費率は、低いほど良いとされている。
- ・実質公債費比率は、18%以上になると新たな起債には県の許可が必要となる。

# 総括質疑

議案第40号 高原町職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例

## ○医師の確保について

**陣** 医師の確保が困難ということであるが、町としての取り組みは？

**A** 県内20市町村で設置している宮崎県医師確保対策協議会及び町のホームページで医師確保を呼びかけている。また、県が医師との面談の機会を年2回設けており、これに参加してマッチングを実施している。町独自に地元出身者へのマッチングも実施している。

**温谷** 近隣自治体の状況は？

**A** 医師の高齢化が進んでいる病院も多く、定年となる年齢を67歳あるいは70歳まで延長している。

**中村** 該当する医師については、大学医局に籍を置いた形で、定年を延長するの？

**A** 大学医局に準医局医としての籍を置いて定年を70歳まで延長し、新しい医師の確保を行う。

議案第49号 平成27年度高原町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)

## ○介護保険事業の見直しについて

**中村** 年度途中での基金への積立であるが、介護保険事業の会計の見直しは？

**A** 本補正は、平成26年度の介護保険給付事業の確定に伴い、繰越金が生じ、これを積み立てるものである。本年度事業は、当初予算どおりに推移しており、現行の予算で十分対応できると考える。

議案第50号 平成27年度高原町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

## ○長寿検診について

**中村** 特定検診等に係る助成について、当初予算の時点で予定されていたなかったのか？

**A** 広域連合と協議を進めていたが、当初予算の時点では確定しておらず、予算計上も行っていなかった。今回の補正により、区域外の指定診療機関以外で受診した場合に、本人の申請により3,600円程度を助成することが可能となる。

**中村** 後期高齢者の中で、当該検診を受診した人数は？

**A** 平成26年度実績で、長寿検診の対象者は1,970名、受診率は、20・6%程度。受診率は県内でも低い。平成25年度比較で受診率は4%向上しているが、引き続き受診の勧奨を積極的に努めたい。

**中村** 受診の啓発の手法は？

**A** 国保対象者と合わせて、長寿検診対象者に対しては、地域に出向いて会合等において受診を勧奨している。日常的に医療機関にかかることが受診率を向上させる妨げになっているとも考えられ、医療機関とも連携して受診率の向上に努めていきたい。

議案第51号 平成27年度高原町病院事業会計補正予算(第1号)

## ○清掃及び医療事務の委託について

**清水** 委託業務の内容は？

**A** 清掃委託業務は、通常清掃に加え、特別清掃として院内のゴミ分別、介護浴槽及び病棟一般の清掃、年2回のワックスがけ、吐血等の特殊な清掃業務である。3年契約で総額2,121万円を限度額とする。

医療事務委託業務は、特殊な医療システムを使用し、外来医療業務、入院事業、診療報酬の請求業務、診

療材料の管理、受付・会計等の窓口業務を含む。3年契約で総額4,780万円を限度額とする。

**陣** 導入する医療システムに関連し、限度額として毎年1,600万円程度必要になると考えるが。

**A** 本委託費用は、委託業者の人件費が主であり、医療システムの導入費用は、本件に含まれていない。医療システムの導入に関しては、別途審議に諮る予定である。

議案第41号 高原町個人情報保護条例の一部を改正する条例

## ○条例の記載について

**陣** 事業者を特定せず全事業者に特定の負荷を与える記載があると考えるが。

**A** 必要性に応じていずれかの時期で改正も検討する。今回の改正は、個人情報保護が重要であることを全事業者に認識していただくことを目的としている。

**陣** 「実施機関」の定義が広範で、定義の条文以降の表現が曖昧になる場合があると考えるが。

**A** 定義の条文における記載は、例示的表記と解釈している。各条文における実施機関は、特定の機関のみ

を意味する。不明確であると指摘された条文については、必要性に応じた改正も検討したい。

**陣** 削除等の規定に関し、「速やかに」削除等がなされることが記載されている。公文書には削除等に関し一定期間の保存期間があると考えらるが。

**A** 公文書については、保存期限年限が定められている。規則として整理して運用する。

**益本** 個人データに誤りがあった場合の訂正の請求があった場合について、どのような手続が想定されるのか？

**A** 情報公開条例の規則等を準用しながらこれから具体的に決めていく。

**益本** 訂正等の請求があった場合に、本人への開示までに要する期間が規定されているが、その期間が長いように考えられる。短縮できないのか？

**A** 開示の請求があった場合に、実施機関の決定等がなされるまでの間は、基本的に当該自己情報の利用や提供を停止することを規定している。決定が遅れる場合も想定されるが、努めて個人の権利保護に資するように運用していく。

**益本** 情報公開条例においては、自己情報の写しを取る費用は無料とさ

れているが、個人情報保護条例においては、費用を納入することが規定されている。この相違が生じる理由は？

**A** 情報公開条例及び個人情報保護条例のいずれにおいても、写しを取る場合には、費用を負担していただく。閲覧のみの場合には、無料である。

**益本** 個人情報保護審議会と情報公開審査会とは、その構成員を兼務できることが規定されているが、実際に兼務しているのか？

**A** 区長会代表、人権擁護委員代表、社会福祉協議会役員、民生委員代表がいずれも兼務している。

**認定第1号 平成26年度高原町一般会計歳入歳出決算認定**

### ○道路行政について

**中村** 榑粉山く皇子線の橋梁工事について、平成27年度に上部工事を実施して完成予定とのこと、1億円が予算化されている。しかし、上部工事は来年度の見通しである。工期が遅れているようであるが。

**A** 平成26年度に入口道路の整備を実施したが、下部工事までの予算措置がされなかった。平成27年度につ

いては下部工事を実施する予定であるが、国からの予算措置が要望額に達していない。平成28年度に上部工事を実施する予定である。

**中村** 総合運動公園から県道へ抜ける道路工事が中断している。この道路は、特に広原方面からの中学生の通学路として利用でき負担が軽減できることが期待されるが、今後どのように取り組んでいくのか。

**A** 1名の方と用地交渉を行い、了解が取れたところである。順次整備を実施していく。

### ○子育て支援について

**中村** 民間保育所では延長保育が実施されているが、公立保育所においては保護者から実施の要望は？

**A** 延長保育に係る補助制度について、私立保育園は、補助制度を利用でき、延長保育を実施いただいている。公立保育園には補助制度の適用がない。延長保育についての要望は把握していないが、突発的に延長保育の必要性が生じた場合には、職員が時間外で対応している。

**中村** 延長保育できることの周知は？

**A** 18時半までの開所時間を基本的に運営している。保護者からの希望を正式に承っていないが、ニーズに合

わせて対応していきたい。

**中村** 川南町では、18歳まで医療費助成を強化している。都農町においても、年次的に推進していくことが予定されている。本町の対応は？

**A** 財源の確保が難しい事業である。平成28年度予算の重点施策として検討し、年次的に実施を検討していく。

### ○空き家対策について

**中村** 空き家バンクの運用状況は？また、国においては、空き家を除去・改修する際に補助が実施されているようであるが、取り組みは？

**A** 空き家バンクは昨年度5件の利用実績があった。空き家除去・改修についての補助については、農村建設課等と連携を図りながら検討してまいりたい。

**中村** 空き家バンクの利用を推進するためには、登録数を増やすことも重要であると考えますが、取り組みは？

**A** 平成25年度から運用を開始し、現在までに21件の登録があった。不動産会社への仲介の形で運用しており、不動産会社や区長等の情報をもとに登録を実施している。

### ○職員手当について

**松元** 職員手当のうち、時間外勤務

手当の増加が大きいようであるが、内訳は？

**A** 衆議院議員選挙と町制80周年記念事業等による勤務時間の増が大きい。職員の健康管理については、課長会等を通じて十分に注意喚起していく。

### ○不能欠損について

**清水** 町税、保育料等の不能欠損に関する説明を？

**A** 町税については、337件、306万7,507円を不能欠損として処理している。執行停止後3年経過したものが43件、20万7,740円、消滅時効5年経過したものが294件、285万9,767円を不能欠損として処理している。

保育料については、22名分、214件、254万1,220円を不能欠損処理している。全て消滅時効5年経過のものである。

### 認定第4号 平成26年度高原町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定

### ○健康づくりについて

**中村** 本町は、医療費が高い方に位置し、当局も特定健診率の向上に取り組んでいるが、運動不足を感じつ

つ日頃から運動していない方々に対する働きかけは？

**A** ほほえみ館において、肩こり、腰痛予防教室、トレーニングコース等、運動を利用した健康づくりを推進している。平成26年度からは、健康づくり推進事業として、町内3地区を指定して運動に対する認識を深める集会を開催している。茶飲み場にも運動指導を導入していきたい。

### ○決算額について

**温谷** 国庫支出金等について、補正で減額措置した一方、決算では2千万円余りの不足が生じているのはなぜか？

**A** 3月議会に上程する予算の締切は1月であり、早い時期に補正予算を組み立てる必要があることが大きな要因である。財政調整交付金等も年度末にならないと確定しないことも要因である。

**温谷** 一般会計に対する影響が大きいと考えるが。

**A** 本事業は、決算額を基に翌年度精算する形で運用しており、一般会計に直接影響しないと考える。

### 認定第5号 高原町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定

**中村** 平成29年度から実施予定の総合事業に対する取り組みは。

**A** 介護保険他福祉サービスに関する相談を受け付けており、平成26年度は、1,139件の相談があった。要支援1・2の方の介護給付費が事業から切り離されることを受け、平成29年度から本件は総合事業に移行して実施していきたい。

**中村** 総合事業に移行するまでの猶予期間の取り組みは？

**A** 平成27年度から29年度までは、地域支援事業の中の総合事業に組み込んで実施してまいりたい。

**中村** 特別養護老人ホームにおいては、基本報酬が6%削減され、5割近くの施設が赤字である。小規模特養施設にも影響が懸念される。進捗状況は？

**A** 本年5月に申請を受け付け、6月に受付を完了し、現在書類審査等を実施している。選定委員として7名を予定しており、9月下旬に決定する。

### 認定第6号 高原町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定

### ○決算額について

**温谷** 歳入額と歳出額との差額が大

きい。補正できたのではないか。

**A** 歳出については、予算額以上の執行はできないことから、実際の支出とかけ離れることもある。予算の有効利用の観点から、適宜補正を行うのが通常とも考える。今後検討する。また、特別会計については、執行目的が限定的であるため、予算枠の範囲内で執行できればよいという考え方もある。

### 認定第8号 高原町病院事業決算認定

### ○運営費について

**中村** 公立病院の運営費の交付税措置について、算定基礎を稼働病床数に見直すことが予定されているが、どのように考えているか。

**A** 本件については、県内で今後検討が予定されており、現段階で情報不足の点もある。その内容を受けて検討していきたい。

### ○医師の確保について

**中村** 医師の確保が喫緊の課題であると考えますが、大学医局の対応は？

**A** 自治体独自に確保に取り組んで欲しいとの声もあり、町としても地元出身者を中心にマッチングに取り組んでいく。



承認第5号 平成27年度高原町一般会計補正予算(第3号) 補正の内容

科 目	金 額	財 源
災害復旧費（農道4箇所、水路3箇所）	270万円	一般財源

承認第6号 平成27年度高原町一般会計補正予算（第4号） 補正の内容

科 目	金 額	財 源
災害復旧費（道路3箇所）	29万9千円	一般財源

議案第46号 平成27年度高原町一般会計補正予算（第5号） 補正の主な内容

科 目	金 額	財 源
① 議会費（高原町活性化対策特別委員会関係）	88万3千円	一般財源
② 悪質商法防止パンフレット等作成費	45万1千円	県支出金、一般財源
③ テレビアニメを活用したPR事業費	20万円	一般財源
④ 電子計算管理費	141万6千円	一般財源
⑤ 社会保障・税番号制度関係事業費	384万7千円	国庫支出金
⑥ 国、県への償還金等	667万8千円	一般財源
⑦ 延長保育促進事業補助金	134万2千円	国庫支出金、一般財源
⑧ 農業振興費	98万円	繰入金、一般財源
⑨ 園芸振興費	370万1千円	県支出金、一般財源
⑩ 農道整備費（維持補修）	230万円	一般財源
⑪ 林業振興費 内訳 シカ捕獲促進事業 有害鳥獣捕獲対策事業	4万4千円 △70万円 74万4千円	県支出金、一般財源
⑫ 商工費 内訳 工業団地草刈り委託費 フリーウェイ工業団地企業立地促進補助金 商工業祭支援補助金	713万円 396万7千円 316万3千円 17万円	繰入金、一般財源
⑬ 御池キャンプ村備品改修費、皇子港進入路改修費	1,200万円	県支出金、町債
⑭ 道路維持費	1,400万円	一般財源
⑮ 高原町住宅リフォーム促進事業費	150万円	一般財源
⑯ 高原中学校剣道部 九州・全国大会出場補助金	10万円	一般財源
⑰ 農地災害復旧費	211万円	県支出金、一般財源等
⑱ 農業用施設災害復旧費	714万円	県支出金、一般財源等
⑲ 公共土木施設災害復旧費	500万円	国庫支出金、一般財源等

議案第52号 平成27年度高原町一般会計補正予算（第6号） 補正の主な内容

科 目	金 額	財 源
① ふるさと納税特産品贈呈事業	6,199万6千円	一般財源
② ふるさと振興事業費積立金	6,539万円	一般財源
③ 皇子原公園老木伐採、舗装面・看板整備費	251万円	一般財源
④ 道路維持費	400万円	一般財源
⑤ 高原中学校剣道部 九州・全国大会出場補助金	34万8千円	一般財源

# 平成27年9月定例会(第4回)議決結果

○：賛成、●：反対、除：除斥、欠：欠席

議案番号	件名	議決結果	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
			陣圭介	反田吉巳	北迫泉	中村昇	温谷文雄	益本一博	松元茂春	清水公雄	入佐廣登	宮司 勤
同意第2号	教育委員会の委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認第5号	専決処分について(専決第5号) 平成27年度高原町一般会計補正予算(第3号)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認第6号	専決処分について(専決第6号) 平成27年度高原町一般会計補正予算(第4号)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第39号	高原町税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第40号	高原町職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第41号	高原町個人情報保護条例の一部を改正する条例	可決	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○
議案第42号	工事請負契約について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第43号	財産の取得について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第44号	分担金を徴収すべき事業について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第45号	物品購入契約について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第46号	平成27年度高原町一般会計補正予算(第5号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第47号	平成27年度高原町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第48号	平成27年度高原町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第49号	平成27年度高原町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第50号	平成27年度高原町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第51号	平成27年度高原町病院事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第52号	平成27年度高原町一般会計補正予算(第6号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第1号	平成26年度高原町一般会計歳入歳出決算認定について	認定	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○
認定第2号	平成26年度高原町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
認定第3号	平成26年度高原町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第4号	平成26年度高原町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
認定第5号	平成26年度高原町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
認定第6号	平成26年度高原町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
認定第7号	平成26年度高原町水道事業決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第8号	平成26年度高原町病院事業決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第9号	平成26年度高原町工業用水道事業決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第3号	高原町議会会議規則の一部を改正する規則	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第4号	高原町議会傍聴規則の一部を改正する規則	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第5号	高原町活性化対策特別委員会設置に関する決議	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第1号	児童養護施設「石井記念神武の家」建設にともなう道路整備について	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



# 一般質問

ここが聞きたい!!

9月議会は、3名の議員が質問を行い、町政について執行部の見解をいただきました。

陣 圭 介 議員



## ○ふるさと納税について

**問** 簡易的な返礼をメニューに追加できないか。

**答** 他自治体の情報収集に努め、関係部署で研究・検討を重ね、協議会で審議する。

**問** 寄附金の各使途が限定的すぎる。町民の方々が基金を広く活用でき、将来を見据えた基盤整備のために、柔

軟な姿勢で寄附金を活用できる仕組みの構築、周知が重要であると考えているが。

**答** 基金の活用につき、周知を検討していく。

## ○ごみ行政について

**問** 霧島美化センターの廃棄物受け入れ終了後のごみ処理の方針又は計画は。

**答** 小林市、えびの市に不燃ごみ搬入の検討をお願いしており、その結果を受け、具体的に協議する。

**問** 最終処分場廃止後の跡地利用について、方針又は計画は。

**答** 現時点で白紙。本町と小林市との間で今後、県内

外の先進地の事例等を参考にしながら検討していく。

## ○公共施設整備について

**問** 道の駅につき、総事業費10億円程度のものを建設する計画であるとのこと。十分にリサーチした上での計画なのか疑問である。町長の方針は。

**答** 基本構想策定の段階で、可能な限り、必要性を十分に説明できる内容を検討する。

**問** 地権者との交渉金額等、費用的な見通しは。

**答** 基本構想策定前であるため、現時点では公表できない。

**問** 基本構想策定の体制は。

**答** 各団体の代表者等で構成される検討委員会を設置し、町民に対してのアンケート内容の検討を行っている。

**問** 施設整備に関する進捗は。

**答** 道の駅は、基本構想策定事業者と業務委託契約を締結した段階。総合体育館は、基本計画策定調査委託事業を発注した段階。

## ○地方版総合戦略について

**問** 総合戦略策定における町民の関与についてどう考えるか。

**答** 審議会で目標及び基本方針を審議、町民にはアンケートを実施する。ワークショップや意見交換会の開催も検討している。



中村 昇議員



○防災対策

**問**

「高原町建築物耐震改修促進計画」が最終年度になるが、防災拠点施設の役割庁舎の耐震化は。

**答**

これまでに庁舎耐震診断を実施した。その結果、1階から3階は耐震性能が低く補強が必要である。今後は耐震補強又は庁舎新築工事等の検討を行う。

○地震ハザードマップ作成を

**問**

昨年9月議会で検討するとしていたが、町の計画でも「自分の住んでいる地域の地震に対する危険性を十分に認識していることが必要で、地域の危険度について周知を図る」としている。マップの作成を。

**答**

来年度の予算で検討したい。

○消防団員の警戒活動手当の見直しを

**問**

消防団員が行う搜索活動や土石流等の警戒活動は数日から数十日に及び、仕事を休んでの出動は団員の家庭の大きな経済的負担になる。今、2500円であるが、他

**答**

市は4700円のところもあり見直しが必要では。長時間の活動に対する費用弁償等の支給基準について検討する。



○教育行政

いじめ問題について

**問**

岩手県矢巾町の男子生徒のいじめを苦に自殺したとみられる問題についてどう受けとめられ、その対応は。

**答**

学校のいじめに対する認識が甘く、組織的な対応

もなく、いじめ防止基本方針が十分に機能していなかった。対応としては、子どもの人権や命を大切にすることや教職員のいじめの認知や組織的対応の徹底と方針の確認を指導する。

○地域公共交通について

**問**

「温泉行き」がほしいなどのニーズもあり、新規の運行にも温泉経由があれば経済活性化にもつながると思うが。

**答**

十分検討したい。





益本 一博議員



○畑かん事業を高原町農業の起爆剤に――！

**問** 畑かん事業の成果をどのように活用していこうと考えているのか。今後の農業経営形態はどのような形が望ましいのか。どのような作物を奨励していくのか。

**答** 農地の集積による大区画、農地貸借による規模拡大、機械導入による省力化を図る。畑かんの水を活用で農業所得の安定を目指す。施設野菜や露地野菜を推進する。

**問** 集落営農組織の未組織地区の組織化方針は。

**答** 中央地区は、畑が広がり水田の点在、農業振興地域外の農地であることから補助事業等の活用が見込めない。田に加え畑も視野に入れた集落営農組織を作る。

**問** 町内で農業生産法人を育成する方針は。

**答** 園芸農家においても法人経営を検討している農業者がおり、支援する。

**問** 適地適作の観点からの基盤整備も考えていくべきではないか。

**答** 鹿兒山地区は、ごぼうの厚みを1・2m確保する計画をしている。耕作者の方々が耕作しやすい基盤整備を実施してまいりたい。

**問** 基盤整備に係る個人負担は10a当たり5万円以下の説明だった。これを超える負担が生じた場合は、町として特段の配慮をお願いしたい。

**答** 基盤整備の単価がアップしないよう進めて参りたい。

**問** 畜産業への畑かん水の利用が可能なか。

**答** 制度上の中での変更を求めて参りたい。



○マイナンバーの危険性を問う――！

**問** マイナンバー制度の準備はできているのか。

**答** 住民票コードの「個人番号」への変換のシステムの構築を行なった。

**問** 町民周知のパンフレットの内容は。

**答** 制度に係る小冊子を全戸配布した。「広報たかはる」、町のホームページでもコーナーを設けている。

**問** 「カード」の管理保管は高齢者等には困難。紛失、盗難・損壊等の場合のリスクや犯罪に対する対応とそれを防ぐ手立ては。

**答** 対処方法を認知されるよう適宜広報していく。「カード」の管理は、保険証などと同様の認識を持ち、住民自らが責任をもって管理を行う必要がある。

# 高原町議会 各常任委員会 所管事務調査報告

## 総務経済常任委員会



総務経済常任委員会は、7月23日、高原町ふるさと納税推進協議会との意見交換を行いました。

平成25年度までは、寄付者に対して、お礼状とポストカードをお返ししておりましたが、平成26年度から町の特産品を寄付金の半額相当お返しすることになり、現在に至りました。

今年は、2億円の寄付を目指しています。

### ふるさと納税の状況

年度	件数	納税額
23	5件	126,000円
24	6件	1,170,000円
25	11件	250,000円
26	4,376件	63,653,432円
27※	18,511件	199,052,046円

※平成27年度は11月8日現在

## 文教厚生常任委員会



文教厚生常任委員会は、7月17日、下記3項目について所管事務調査を行いました。

- ① 保育士人材バンクの設置等について（町民福祉課への聞き取り）
  - ・近隣自治体（えびの市）の状況について
  - ・設置に向けた準備状況について
  - ・設置に向けた課題等
- ② 高原町子育て支援センターについて（町民福祉課への聞き取り、現地調査）
  - ・利用状況について
  - ・担当保育士について
  - ・活動内容について
- ③ 保育園の現地調査（並木保育園）
  - ・保育園の概要等について
  - ・保育士について
  - ・施設見学



## 平成27年度高原町議会研修講演会を開催いたしました。



福嶋 浩彦氏

※参加者：…議会、区長会、役員関係者、町内商工関係者等 85名

10月28日（水）、ほほえみ館中研修室において、中央学院大学教授 福嶋浩彦氏をお招きし、地方創生に関する講演をいただきました。

演題を「住民から出発する地方再生」とし、人口を奪い合う自治体間競争ではなく、人口減少の中で持続可能な仕組みの構築や、公共施設の複合化・多機能化の必要性と、徹底した住民視点の自治体運営の重要性等について講演いただきました。

# 議会報告会

高原町議会は、開かれた議会を目指し、議会の説明責任を果たすために、議会基本条例に基づき、昨年度より議会報告会を開催しています。

本年度は、町内10会場で議会報告会を開催し、237名の参加をいただきました。ありがとうございます。

各会場では、平成26年度の決算報告、各常任委員会及び特別委員会の活動報告を行った後、参加いただいた町民の方々から様々なご意見、ご提言をいただきました。

開催日	対象地区	出席者数	対象地区	出席者数
10月13日	下麓・蒲牟田	10名	並木・常盤台	55名
10月14日	花堂・小塚	22名	上麓	35名
10月19日	下広原	11名	中平・湯之元・祓川	15名
10月26日	上後川内・下後川内・川平	29名	出口・鹿児島	35名
10月29日	北狭野・南狭野	19名	上広原・西広原	6名



○10月13日 並木・常盤台地区



○10月26日 上後川内、下後川内、川平地区



○10月14日 上麓地区

## 議会報告会でいただいた主なご意見

**Q** 道の駅を建設することは決定しているのか？また、これに対する議会の姿勢は？

**A** 議会としては、作ることを前提とした予算決議はしていない。当局は、現在、基本構想を策定しているところである。道の駅の構想や管理・運営等の体制、道の駅整備の目的や実現性等について、当局から示されなければ、議会としては判断ができない。

議会としては、9月定例会において、特別委員会を設置した。この特別委員会で調査項目を決め、県内外の道の駅の実態を議会自ら調査し、比較・検討して判断材料としていく方針である。

**Q** 建設予定地は、更地の状態で買うのが基本ではないのか？

**A** 議会としても、更地で買うのが基本という考え方で、当局に説明済である。

**Q** 総合体育館の建設についてはどうか？

**A** 体育館の規模の決定や必要性について、調査委託費を決定した段階である。道の駅と同様に、特別委員会で議会自ら調査し、また、議会基本条例に基づき、精査、協議していく。

多数のご意見、ご提案等をいただきましてありがとうございます。今回掲載できなかったご意見等につきましては、議員全員で共有し、対応を決定させていただきます。

また、決定した内容につきましては、改めて発行する「議会だより特別号」に掲載させていただきますので、発行までしばらくお待ち下さい。

なお、ご要望として承った内容につきましては、議員全員で共有し、取りまとめた後、当局に申し入れいたします。

## 高原町活性化対策特別委員会 が設置されました。

- 1 名称…高原町活性化対策特別委員会
- 2 設置の根拠…地方自治法第109条及び高原町議会委員会条例第4条
- 3 目的…地方創生を進める中で町民の付託と信頼に応えるため、ふるさと「たかはる」の活性化と充実に必要な事項についての調査研究と検討を行う。
- 4 委員の定数…9人（議長を除く）
- 5 設置期間…平成27年9月3日から調査研究終了まで

本町は、全国の過疎地域と同様、少子高齢化が進み、定住対策は急務の課題となっています。直接的施策や間接的な施策を総合的に融合させ、町の活性化を図ることが肝要です。

国においては、地方創生に関する関連法が制定され、地方創生に関する緊急的取り組みに対する措置がなされています。

地方においては、地方創生に関する市町村総合戦略を策定し、諸施策の推進及び効果・検証等の段階において十分に議論するように求められています。

現在、本町では、少子化に対する子ども・子育て支援対策の充実、児童数の減少に伴う学級編成や学力向上対策、学校環境の整備等も町の大きな課題でもあります。

さらには、農業においては、高齢化と相まって農業後継者不足による農地の管理運営と営農組合の法人化も課題となっております。

このような中で、本町では、現存施設の老朽化に伴う屋内総合体育館整備構想や道の駅構想も現在策定中であります。

高原町議会においては、高原町が将来にわたり、魅力的で活力にあふれる「まち」として持続していけるよう、総合戦略の重要性を強く認識し、地方創生の諸施策への対応を総合的に検討するため、この特別委員会が設置されたものであります。



ゆくさ  
おじゃったもした



# 農家民泊



大迫さん

江田さん



子どもたちが牛に触れたり、農作業に素直に感銘してくれるのが嬉しいです。農業体験を通じて、普段何も気にせず口にしている野菜や肉のありがたさ、食の大切さを伝えていきたいと思います。

(江田支征さん・美知子さん…下広原・東)

農家民泊を体験する生徒さんには、その時々々の農作業を体験していただきながら、高原町の観光地も案内しています。食事についても、郷土料理を一緒に調理しながら、和やかな雰囲気の中で楽しませていただいています。

民泊を通じて、離れている孫と同年代の生徒さんたちから、元気をいただいていますし、民泊受入農家が増えることを望んでいます。

(大迫マチさん・恒作さん…北狭野・上新地馬場)

◇議員1年生として初めての決算議会を経験しました。ぶ厚い決算書を短期間で熟読して本会議に臨む必要がある一方、地域行事にも多数参加させていただいており、一日一日がまたたく間に過ぎて参ります。◇国が推進する地方創生の施策の一環として、高原町は総合戦略の策定に取り組んでいます。この戦略は、個々の自治体が今後自立していくための最重要項目に位置付けられるものです。議会にも特別委員会が設置され、本町の活性化に関する活動を開始いたしました。◇議会本会議には、町の予算の執行に関し、総括質疑の場が設けられています。一般質問に加え、総括質疑の傍聴にもいらしていただければと、町政に関する理解が深まると思います。お待ち申し上げます。

(陣圭介筆)

あ  
と  
が  
き